

4 16項目の具現化 2023 テーマ『まず、やってみよう！～ 私の学校は私がつくる ～ ※R5年度の重点項目

市教育振興基本計画	No	16の視点	具体的な推進内容
確かな学力の定着	1	知的好奇心	読書活動の重視・体験型学習の拡充（地域リソースの活用）
	2	情報活用能力	ICT活用スキルの向上・情報リテラシー教育・タブレットの日常的活用
	3	情報発信力	対話的な学習の充実・プレゼンテーションスキルの向上・プログラミング学習
	4	考え方のルーティーン	自ら気付く（課題設定力の重視）→熟慮する（判断力の重視）→意図的な活用 スタートカリキュラムの充実
輝く未来に向かって ※非認知能力の育成	5	自己効力感	「他者から反響がある喜び・小さな変化を引き起こす喜び」の実感 例：聞く力の重視・あいさつ運動推進 等 特別活動（委員会等）の形成的評価
	6	自己有用感	「役立つ喜び」の実感（清掃活動・委員会活動・ボランティア活動 等）
	7	つながる力	人（ゲストティーチャー等）・もの（教材等）・コト（行事等）と出会う体験 自ら企画・推進する体験（失敗を恐れない！）
	8	自己を見つめる力	「特別の教科 道徳」の充実（考え、議論する中で自分を見つめる時間の確保） キャリアバムの活用（自己評価を振り返る・サポートする）
豊かな心の醸成	9	多様性を認め合う心	聞く力（態度）の育成・特別支援教育の浸透・対話的な学習の充実
	10	豊かな感性	芸術系教科（音楽・図工等）の充実・自然体験の重視・読書活動の重視
	11	折れない心（レジリエンス）	「まず、やってみる！」習慣の形成・小さな成功体験・形成的評価の重視
	12	折り合いをつける心構え	特別活動（学級会等）の話合い活動・アサーティブな態度の育成
健やかな体の育成	13	体を動かす喜び	体育の授業改善・元気アップタイム・元気アップガイドブック 体育朝会を活用した運動意欲の啓発
	14	生活習慣	グッドモーニング 60分・SNSルール・生き生きカード・「足育」の推進
	15	「食」を大切にする	昭島市給食課との連携・給食指導・学級園の活用・農家との連携（予定）
	16	「性・生命」の尊重	保健学習・ふれあい月間・いじめ防止教育・SOSの出し方教育・SDGsの浸透

5 具体的な推進内容

1 6の視点	確かな学力の向上	Key Person
1 知的好奇心	<p>○読書活動の推進 今後の豊かな人生のためにも「読書好きな児童の育成」を重視。 日常の読書活動、年3回の読書週間等の目的とそこに迫る手だての工夫を共有。</p> <p>○体験型学習の拡充（地域リソースの活用） 光華遊学に向けても、「共同体験」を重視。地域人材・資源の活用推進においては、「新規の人材・資源」と「本校として継続すべき人材・資源」を共有。（アクセスの簡易化も図る）</p>	
2 情報活用能力	<p>○ICT活用スキルの向上 学習への積極的な活用推進。「個別最適な学び」のツールとしてだけでなく「協働的な学び」への活用がポイント。教員間の活用頻度差を解消する工夫も課題。</p> <p>○情報リテラシー教育の推進 必須事項。校内での共有を前提に、日常的な生活指導の課題としても重要。</p> <p>○タブレットの日常的活用 一人1台の利点を最大活用。家庭学習においても積極的な活用を。教員の働き方改革にも。</p>	
3 情報発信能力	<p>○対話的な学習の充実 全教育活動で充実させたい。「思考ツール」も活用し、可視化・操作化・構造化などを通して『発信したくなる』仕掛けの工夫を。</p>	

	<p>○プレゼンテーションスキルの向上 「相手に伝わりやすい」「納得させる」ポイントを、日常的に積み重ねていく。 可能な範囲で ICT 活用と連携させていく。</p> <p>○プログラミング教育 PC ソフトを使った基本的な操作の習得。プログラミング的思考の日常化も重視。</p>	
4 考え方のルーティーン	<p>○自ら気付く（体験的学習、課題設定までの時間確保、教師の仕掛け への取組） →熟慮する（特に「自ら判断する」ための情報活用、対話的な学び、プログラミング的思考） →意図的な活用（最終的な判断により得た知識を他の場面でも意図的に活用してみる）</p> <p>○スタートカリキュラムの充実 6年間の光華遊学のスタートとしても「学びの視点」「意欲」を十分に引き出す</p>	
輝く未来に向かって		
5 自己効力感	<p>○「まず、やってみる」心のクセをつける 失敗を恐れず、できないことをいやがらない習慣付け。クラスの雰囲気作り。</p> <p>○リアクションの推進 聞く力（態度）の重視、あいさつ運動の工夫（される側の対応）、特別活動（委員会等）の 形成的評価 など</p>	
6 自己有用感	<p>○周囲の役に立つ実感・喜び 清掃活動・委員会活動・ボランティア活動の工夫、学校外（地域やPTA）との協働的な作業</p>	
7 つながる力	<p>○人・モノ・コトと出会う、つながる体験の重視 ゲストティーチャー招聘、教材・学習材の工夫・イベント企画の機会提供 など</p> <p>○新たな学びのスタイルを通じて 教科横断型学習、プロジェクト型学習 等</p>	

8 自己を見つめる力	<ul style="list-style-type: none"> ○特別の教科「道徳」の充実 自分事（自分はどう思うか、自分ならどうか）として考え、議論する授業展開を。 ○キャリアアルバムの活用 個人面談での活用。児童の自己評価をサポートする教師＋保護者の共通認識を確立。 	
豊かな心の醸成		
9 多様性を認め合う心	<p>「共生社会」を担う一員として！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育（理解教育）の浸透 くすのき教室を軸に、通常級での理解教育を推進。 ○対話的な学びの充実 「アサーティブな」態度、スキルの定着。 ○豊かな国際感覚 日本のよさを理解。外国のよさを理解。 	
10 豊かな感性	<ul style="list-style-type: none"> ○芸術系教科（音楽・図工）の充実、日常化 授業の充実。日常的に感性を刺激する工夫（仕掛け）。 ○自然体験の重視 移動教室、学級園、栽培活動、星空観察などの体験。 ○読書活動の重視 すぐれた文学作品の紹介 など。 	
11 折れない心	<ul style="list-style-type: none"> ○小さな成功体験の積み重ね スモールステップと見通しの連続で、自らゴールイメージを描ける人間に。 ○「達成感」を味わわせる活動の工夫 行事の目的を明確に。どこに子供たち（学級経営）の目的を置くか。 ○年間を通した継続的な活動 「続ける」ことの価値を体感させる活動の工夫 	

12 折り合いを つける心構え	○学級会の充実 「アサーティブな」態度、スキルの定着。	
健やかな体の育成		
13 体を動かす 喜び	○体育の授業改善 体育の目的は「生涯にわたって運動に親しむ」人間づくり＝面白いか、どうか?!が重要 こうすればできる、ことが知識としてわかる教師に！（技能分析の重要性） ○元気アップタイム（体育的活動） 登校時、休み時間、放課後、集会を利用して運動遊びを仕掛ける工夫	
14 生活習慣の コントロール	生涯に渡って生きる知識の獲得を！ ○グッドモーニング 60 分の推進 ※昭島市必須！ ○SNSとの付き合い方 児童・家庭に届く啓発活動。小中連携の中で9年間を通した啓発活動。 ○「足育」の推進 日本学校体育研究連合会主催事業との連携	
15 「食」を 大切にす	○給食課との連携 栄養士による食育との積極的な連携 ○「食」を通した外部連携 外部人材・資源の活用。SDGsの推進。	
16 「性・生命」の 尊重	○保健学習 正しい知識の獲得が、正しい行動につながる！ ○自分を守る いじめ防止教育（年3回の授業）、「SOSの出し方」教育の定着。 ○ゲストティーチャーの活用 助産師、日航機事故遺族 等	

